



本当に大切なもの



松本 和美
さん
宮園

子供を持つ親の願いは、いつの時
代も、またどの年代の方にとつても
常に健康・幸福そして将来の生活の
安定など、ではないかと感じていま
す。

我家にも息子一人、娘二人がいま
すが、毎日の生活の中で「今日一日
を無事に終えたい」という単純では
ありませんが、考えようによっては実
に難しい課題を抱えています。最近
毎日のように報道される恐ろしい事

件・事故・災害など。一昔前までは
どこか遠い別の世界の出来事の様
だったことも年々、身近に感じざる
を得なくなってきました。

文化・経済の発展によって人々に
は生活の向上がもたらされてしまし
たが、反面、忙しさと情報過多に
よつて、心がすさんできて生きる本
質を見失ってきたように感じます。
本当に大切なのは、人への思いやり
優しさではないでしょうか。

大きなことはできないにしても、
家族、友人、近隣のおつき合いの中
で、自然に身につくはずのあいさつ
や、ちよつとした心遣いなどが、ゆ
ずりあい、認めあい、いのちを大切
に思うところを育てる第一歩となる
のではないのでしょうか。

お年寄りや、体の不自由な方への
配慮などが問われていますが、勇気
を持って、実践したいものです。

私の家庭でも、今一度、子供達と
のかかわりや生活態度の見直しを計
り、改善してゆけるよう、努力した
いと思います。

次回は、辻の城団地の宮田 文さ
んに登場していただきます。

わがまます 再見

⑧

東海大学宇宙情報センター

東海大学宇宙情報センター
(下田陽久所長) は、杉堂の熊
本空港滑走路の南隣りにありま
す。県道206号に面して大き
なパラポラアンテナ群が、SF
の世界のように林立しているこ
ろです。進入口には重たい鉄
の扉があり、そこで車をとめて
インターホンで来意を告げると、
音も無く扉が開きます。なんだ
か秘密基地の雰囲気です。

◆各種の衛星を受信◆

センターは、一九八六年十一
月の開所。八万九千平方メートルの
敷地に、受信研究棟、衛星受信
用の各種アンテナ、天体観測
ドーム、気象観測シエルターな
どがあり、高度に自動化された
受信システムで、さまざまな衛
星データを24時間休むことなく
収集・解析し、ユーザーに提供
しています。

現在観測中の主な衛星は「だ
いち」(地球観測)、「ひまわり」
(気象観測)など。レーダーを
使って地下の遺跡を発見する宇
宙考古学の分野は、東海大独自

“地球の健康診断”の役割担う



の成果として高い評価を受けて
います。

◆日本で三大拠点の一つ◆

このセンターは、国が運営す
るJAXA(宇宙航空研究開発
機構)の地球観測センター(埼
玉県)、広島工大の高度地球環
境情報研究センター(広島県)
とともに日本で三カ所しかない
本格的な衛星観測施設でもあり、
国が収集する衛星情報を補完す
る大切な役割も担っています。
大気や海洋汚染など、地球環
境問題が世界的なテーマとなつ
ていま、”地球の健康診断”をす
る人工衛星の役割は一層大きく
なっています。(T)